

# 新潟県立学校 いじめ総点検チェックシート

自校体制確認 (新潟県いじめ防止対策等に関する委員会 第3号案件調査報告書を受けて)

学番 71 校名 県立高田商業高等学校

no	点検項目	報告書から	自校の現状
1-1	自校の組織体制について	「県基本方針」、「行動計画」に示された組織的対応が適切に実行されなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成員(法第22条の規程に基づいているか)</li> <li>・ 今年度の会議開催状況 (①未然防止や生徒の情報共有のための会議・②認知のための会議)</li> <li>・ これまでの開催記録の有無</li> <li>・ いじめの被害やいじめの疑いについての訴えを聞いたときの、情報の流れ方。(どのように校長に伝わっていくか。)</li> <li>・ 組織における校長の役割</li> </ul>
1-2	校長のマネジメントの下で組織が適切かつ十分に機能しているか	校長の学校管理、マネジメントが適切かつ十分に機能しなかった。	
2	いじめ未然防止のための「自校独自」の取組とその検証(具体的に箇条書きで)		例、外部講師を招いての研修会や講話、ソーシャルスキルトレーニングなどの効果
3	アンケート等、いじめ発見のための取組の状況とその検証		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施方法</li> <li>・ その効果と改良すべき点はどこか</li> </ul>
4	平成28～29年度のいじめ認知の状況・法の定義に基づいて認知していたか。見逃しはなかったか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害者保護に重点化した対応。</li> <li>・ 保護者との情報共有。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各年度の認知件数、内容(概要) ※ 特に平成29年度のいじめ認知件数が「0」の場合、再度検証を行い「0」と言い切れるか</li> <li>・ 「友人とのトラブル」、「いじり」などとして片付けた事案は何件か それらの事案を検証し直したとき、いじめ認知は何件か</li> </ul>
5	平成30年度はいじめ認知と対応(指導)状況 ・法令上の規定に基づいて対応していたか。認知漏れがないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめ被害の申立てに関する聞き取り。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知せずに「友人とのトラブル」、「いじり」などとして片付けている事案がないか</li> <li>・ 認知時に、保護者への連絡し忘れがなかったか</li> <li>・ いじめの背景や生徒理解を踏まえた十分な指導であったか</li> </ul>
6	いじめ見逃しゼロに大きな役割を果たす「観衆・傍観者」に対し、効果的な指導を行ったか。それはどんな指導だったか。	自殺予防教育への取り組み、SNS適正利用の取り組みの強化	例、SNS適正利用教育、SOSを発する教育プログラムなど
7	上記のチェックを通じた委員会としての振り返り(意見・感想など)		
8	第三者委員会第3号案件調査報告書に対する「校長としての受け止め」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校長としての意見、コメント等を記入すること。</li> </ul>